



どうにかする力

泗水小学校だより
R5. 1. 24(火)
No. 42
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成
～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～



※左のQRコードを読み取ると泗水小
HPに移動します。随時更新中です。

地域の安全を守る「警察のしごと」について学ぶ～3年生～

1月17日(火)に、菊池警察署花房台交番の林田義文様のご協力で、3年生が地域の安全を守る警察の仕事について学びました。1～3校時は、クラスごとに講話、4校時はパトカーや白バイの見学をさせていただきました。

講話では、林田様がこの3月で定年を迎えられるということで、これまでの長いキャリアでの体験談などを交えながら、警察官の仕事の話をしてくださいました。林田様には、昨年度も講話や県警本部鑑識課(警察犬)を呼んでいただきました。本当にお世話になりました。これまでの警察官としてのご勤務、お疲れ様でした。4校時の見学では、パトカーや白バイに乗せていただいたりして、楽しく学ぶことができました。

今回の学習をとおして、将来、警察官を目指す子どももいるのではないかと思います。



朝からお世話になります！PTA読み聞かせ

1月19日(木)に、今年度5回目の読み聞かせが行われました。この読み聞かせは、PTA文化委員会の主催で、PTA一人一役、泗水図書館、しすいっ子童話会、本校職員などのご協力で月1回行っているものです。朝8時30分からですが、来校いただいて各クラスに分かれて読み聞かせを行っていただいています。子どもたちは大変楽しみにしており、今回も、真剣に読み聞かせを聞く様子が見られました。



今年度は、2月9日(木)と3月9日(木)にあと2回予定されています。2月は、泗水小読書月間も計画されています。本に親しむ泗水っ子の育成に向けて、学校とご家庭、地域の皆さんが力を合わせて取り組めたらと思います。

☆校長室から独り言39☆

挫折や試練を人生の糧とする～挫折をバネに「どうにかする力」を～

この欄に何度も登場させますが、この正月休み、一人息子が東京から帰省しました。転職した会社での勤務も8ヶ月を過ぎました。とても忙しくて夜遅くまで会社に残ることもしばしばですが、上司や同僚の方々に支えられ、充実した毎日を送っているようです。「うちの部署は、仕事量がめちゃくちゃ多くて大変だけど、人間関係でのストレスはまったくないんだよね。」1年目とは思えないくらい重要な仕事も任せてもらっているとのこと。息子は体育会硬式野球部出身ですので、得意のレクリエーションリーダー(いわゆる宴会部長)も任せられ、息抜きの間でも活躍しているそうです。

東京へ戻る日、熊本空港まで車で送りました。その途中、息子が落ちた公立高校の前を通りかかりました。「〇〇高校に落ちたことは、自分にとって大きな節目だった。」息子が話し始めました。「落ちたことで、『大学受験で絶対にリベンジする』と決意して努力した。〇〇高校に合格していたら、目標としていた大学には行けなかっただろうし、今の会社にも入ってなかっただろう。人生が変わっていた。辛かったけど、自分は落ちてよかった。」

雨の中のグラウンドでキャッチボールをした合格発表の夜、「この試練が息子の人生にとってプラスだったと言えるようにしてやりたい」と思いました。あの時のことを思い出しながら、息子の言葉に胸が熱くなりました。

これからも様々な試練が息子には待ち受けていることでしょう。しかし、高校受験の挫折を乗り越えた根性と自信を糧に、これからも東京で人生を切り拓いて前に進んでほしいと思います。私たち夫婦は、熊本から心の支えとして応援するのみです。とはいえ、今回の帰省でも、妻は洋服代やお土産代を随分貢がされたようですが…。